

第13回 あきる野市総合計画審議会 議事録

日時：令和6年8月9日（金）午後2時～午後3時00分

場所：あきる野市役所別館3階 第1会議室

出席者：会長	菊地 俊夫	委員	浦野 知明	委員	多田 恵子
副会長	坂本 秀夫	委員	松村 博文	委員	近藤 怜美
委員	小西 フミ子	委員	三瓶 清憲	委員	江添 真司
委員	甲野 富和	委員	倉田 克治		
委員	小山 正弘	委員	田中 恵子		
委員	山崎 勇	委員	野島 健也		
委員	谷澤 俊明	委員	菊池 常広		
委員	安永 勝昭	委員	櫛 敏男		

（書面方式による参加：齋藤 孝委員、松村 昌治委員、町田 修二委員、吉田 正幸委員）

1 開会

〔事務局〕

ただいまから、第13回あきる野市総合計画審議会を開催する。

委員の皆様には、お忙しい中、会議にご出席いただき、感謝申し上げます。

本日の会議については、齋藤委員、松村委員、町田委員、吉田委員からご欠席の連絡をいただいている。

では、本日の審議会から新しく参加される6名の委員について、事務局から名簿順に紹介をさせていただきます。

あきる野市教育委員会からご参加いただいていた田野倉委員に代わり小西委員、秋川農業協同組合からご参加いただいていた坂本委員に代わり谷澤委員、あきる野青年会議所からご参加いただいていた飯島委員に代わり三瓶委員、あきる野市健康づくり市民推進委員からご参加いただいていた伊東委員に代わり田中委員、NPO法人あきる野市スポーツ協会からご参加いただいていた吉田委員に代わり菊池委員、明星大学からご参加いただいていた横倉委員に代わり坂本委員にご参加いただく。よろしく願います。

また、本日は、総合計画審議会事務局として、企画政策課の職員が出席しているほか、「あきる野市まち・ひと・しごと創生推進計画」の進捗管理を目的として、商工振興課の職員が同席しているので、よろしく願います。

〔会長〕

副会長であった明星大学の横倉委員が委員を辞されたため、新たに副会長を選任したい。会長提案としては、任期途中でもあることから後任の坂本委員にお願いしたいがどうか。

〔委員〕

【異議なし】

〔会長〕

では、坂本委員に副会長をお願いする。

2 議題等

(1) 第2次あきる野市総合計画 令和5年度の施策の進捗管理について

【事務局から、資料（事前送付：「シート1」、「シート2」、「委員からの意見」、「各課からの修正」/机上配布：「委員からの意見（修正）」、「委員からの意見（7.31資料送付後）」、「交通体系整備方針図（あきる野市都市計画マスタープラン）」）に沿って説明した。】

[会長]

まずはじめに、事前に委員の皆様からいただいた質問や修正提案、各所管課からあった記載内容の修正報告など、事前に送付された各資料について、何かご意見などはあるか。

[委員]

私が令和4年度の進捗管理シート及び審議会で意見を述べた、第1章第3節4「①河川施設の整備・維持管理」、第1章第3節1「①道路整備の推進」について、現在どのように検討されているのか知りたいとの意見に対し、令和5年度の回答は「関係部署と協議の上、方向性を確認してまいります。」になっている。市としてまだ、何も方向付けや検討がされていないように思う。

また、令和6年度の取り組みの中で、「庁内協議の上、整備計画を策定する箇所を選定する。河川管理上必要に応じて整備を行う。」との記載があるが、総合計画の中では、すでに方向性を示しており、基本構想の中で防災・減災に関しての位置付けがされている。

河川関係では、基本計画の中にある、第1章第3節「安全で利便性の高い都市基盤の充実」の課題と対応の方向性の中で「市内の法定外河川は法定河川を管理する国や東京都と連携し、河川の維持保全を行っています。市が管理する河川のうち、主な河川については、近年の気候変動による影響を踏まえ、治水や利水、親水機能や生態系の保全を維持するため、河川整備の在り方を検討することが必要です。」と記載されている。また、第3章第2節では台風19号関係の被害状況について記載があり、「東京都が公表している浸水予測区域図では、時間最大雨量153mm、総雨量690mmを想定した場合、本市においても、地域により3mを超える浸水が発生するおそれがあるとされています。」と書かれている。

道路整備関係については、「安全で快適な通行空間を確保し、都市景観や防災性の向上を図るため、市道整備計画に基づき、道路施設の整備・維持管理を推進します。」となっている。さらに、「あきる野市国土強靱化地域計画」の中では、第3章第6節「脆弱性の分析・評価と対応の方向性」の「目標7」に「東京都が公表している浸水予想区域図によると、河川に近い場所で、浸水リスクの高いエリアがあります。市では、関係機関と連携し、河川施設の整備・改修等を行い、治水対策の推進に努めています。」としている。

市は、「方向性の確認や、必要に応じて整備を行う」のではなく、着々と関係機関と調整し計画を立てる段階ではないのか。そのことを示し、進捗状況について、報告すべきである。そのために、総合計画に参画し意見を述べるとともに、補足資料を企画政策課に持参し、説明をしている。

[事務局]

「委員からの意見（7.31資料送付後）」をまとめた資料を机上配布しているため、読ませていただく。河川施設の整備・維持管理については「河川施設については、河川管理者である東京都が水防上注意を要する箇所を毎年度公表しています。今年度は、秋川2カ所（小川地内、山田地内）、平井川2カ所（日の出橋下流2カ所）の工事を行っております。」と回答している。

続いて、道路整備の推進については、「現状、市内全域において、狭小などの理由で緊急車両の通行や、避難が難しい道路箇所を把握することはできておりませんが、町内会・自治会などの提案を受

け、改良の必要があると認められる箇所については、消防署をはじめ関係各署と連携の上、その都度対応しております。」と回答している。

危険と思われる箇所については、協議をしながら対応を進めている。具体については調整中であるため、お示しできる段階ではない。ご理解をいただければと思う。

[委員]

この資料（委員からの意見(7.31 資料送付後)）は、今日配布され、見させていただいた。最初に説明しているとおおり、道路整備箇所については、私は実際に現地状況を見て、一方通行で災害時には逃げ道がないが、隣接したところには道がある状況を確認している。そこを改修し接続できれば、交通や住民の避難が可能だと思う。

しかし、市の考え方もあると思うので、私の考えを述べ進捗状況の確認をさせていただいた。

[会長]

その他、意見はあるか。

[副会長]

全体に対する意見であるが、評価の大半がA評価となっている。事業が順調に実施されているということだと思うが、Z評価（評価困難）が10個以上ある。アンケートや資料が無く、評価できないということは分かる。

この点については、会長も同じ意見を持っている。市の回答として、後期計画策定の課題と書いているが、評価の見通しを記載した方が良いと思う。市はどう考えるか。

[事務局]

Z評価が多い理由は、隔年実施をしている市民アンケートなど、その年度で評価できない項目を一律Z評価の記載で統一したためである。今年度は市民アンケートの実施年度のため、来年度は市民アンケートの結果を反映させた上で評価をすることが出来る。それ以降の評価については、具体的なことは言えないが、例えば令和5年度の状況から推測して回答する等、何らかの方法で対応したい。

[会長]

その他の意見はあるか。

[委員]

委員からの意見について、シート1の30番の、町内会自治会の加入率の問題である。私の記入した意見について「委員会当日に要望として紹介」とあるが、やる気はあるのか。私は、町内会・自治会に仕事が押しつけられていると感じている。単なる紹介ではなく、取り組んで欲しい。

[事務局]

委員の皆さんから頂いた意見の内、すぐに回答が出来ない意見を要望として分類しているため、ここで皆さんからの意見をもらえればと考えてる。この後の進行で審議ができればと思う。

[会長]

他に意見はあるか

[委員]

評価が、BやCの項目にも「引き続き、事業を実施する」というような文言が入っている。Aではないのに同じことをやっていると、意味がないのではないかと。どのように取組を変えていくのか等の文言を入れて欲しい。

[事務局]

該当する課に、改善するように申し伝える。

[会長]

続いて、令和5年度の施策の進捗管理シートの「総合計画審議会からの意見(案)」欄につきまして、委員の皆様から事前にいただいたご意見を記載しているの、こちらについてご審議いただきたいと思う。いただいたご意見について、審議会からの意見として、進捗管理シートに記載するかしないか、節ごとに順番に確認していきたい。

なお、特にご意見のなかった節につきましては、「令和6年度の取組のとおり進められたい。」としている。

それでは、一つ目、シート1の1ページ目、第1章第3節「安全で利便性の高い都市基盤の充実」から、事務局の説明をお願いします。

【第1章第3節「安全で利便性の高い都市基盤の充実」に対する意見について、事務局から説明した。】

[会長]

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

[委員]

【異議なし】

[会長]

それでは、こちらの内容については、赤字の事務局案を、「総合計画審議会からの意見」として、進捗管理シートに記載する。

続いてシート1の5ページ目、第3章第1節「連帯・交流に支えられた豊かな地域社会の形成と多文化共生社会の推進」について、事務局から説明をお願いします。

【第3章第1節「連帯・交流に支えられた豊かな地域社会の形成と多文化共生社会の推進」について、事務局から説明した】

[会長]

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

[委員]

「検討します。」だけではやらないと思う。具体的な回答が欲しい。地域からは、多くの要望が出ている。加入促進に資する取組をして欲しい。

[会長]

委員としては、事務局案を掲載することは構わないが、もう少し踏み込んだ内容を記入して欲しいと言うことか。

[委員]

そうである。

[事務局]

経営会議という市の会議がある。そこで委員の想いも含めて報告をさせていただく。表現については精査させていただき、相談をしながら進めたい。

[会長]

委員の想いを汲んで修正されると思うが、事務局案を記載するで良いか。

[委員]

【異議なし】

[会長]

それでは、こちらの内容については、赤字の事務局案を「総合計画審議会からの意見」として、進捗管理シートに記載する。

続いてシート1の14ページ目、第6章第1節「行政運営の健全化」について、事務局から説明をお願いします。

【第6章第1節「行政運営の健全化」について、事務局から説明した。】

[会長]

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

[委員]

ある程度の市民負担も考えた負担のあり方について検討しないと、財政的に厳しいと思う。

また、合併の経緯もあり、職員の急激な変動がないように要請もしてきた。今は30年経過し、安定してきていると思う。市長に話を聞くと「予算の中で運営はしている」とのことであった。そうは言っても、今のあきる野市の財政の厳しさについて、市民かどうか分からないが、SNS等には出ている。このような内容が出ると、魅力があっても住むとなると、なかなか難しいところがあるのではないかと思い、提言した。

ふるさと納税で自主財源を確保している自治体もある。少しでも推進して改善いただければと思う。赤字の内容については記載いただいて問題ない。

[会長]

それでは、こちらの内容については、赤字の事務局案を、「総合計画審議会からの意見」として、進捗管理シートに記載するが、よろしいか。

[委員]

【異議なし】

[会長]

続いて、シート2の2ページ目、第1章第2節「緑豊かで良好な都市景観の形成」について、事務局から説明をお願いします。

【「第1章第2節「緑豊かで良好な都市景観の形成」について、事務局から説明した。】

[会長]

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

委員の意見を記載しようというものだが、委員としても問題ないか。

[委員]

1ヶ月で8日くらい市内をスクーターで回って、自治会や旧秋川の会館、市役所の建て替え候補であった引田の土地がどのように利用されているのか等、自分の目で見ている。

以外と公園の遊具は鉄が多くて修繕費も高い、他の市も公園の遊具を減らしているような状況である。そのような経緯もあり、意見を書かせていただいた。

[会長]

それでは、こちらの内容については、黒字の委員意見を、「総合計画審議会からの意見」として、進捗管理シートに記載することとして決定したいと思うが、よろしいか。

[委員]

【異議なし】

[会長]

続いて、シート2の6ページ目、第2章第3節「あるきたくなる街あきる野を目指した観光業の振興」について、事務局から説明をお願いします。

【第2章第3節「あるきたくなる街あきる野を目指した観光業の振興」について、事務局から説明した】

[会長]

こちら委員からの意見を記載している。説明のあったシート2の6ページ目、第2章第3節「あるきたくなる街あきる野を目指した観光業の振興」の施策の進捗状況等に対する委員からのご意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、ご意見などあれば、お願いします。

[委員]

各市の観光マップを見ているが、あきる野のものは面白くない。観光情報を知らないから、みんな観光をしない可能性もある。有効な施策を、課を横断して行った方が良いと考え記載をした。

[会長]

それでは、こちらの内容については、黒字の委員意見を、「総合計画審議会からの意見」として、進捗管理シートに記載することとして決定したいと思うが、よろしいか。

[委員]

【異議なし】

[会長]

私の大学の学生が、修士論文であきる野市について調べているが、あきる野市は面白い観光資源が多くあると思った。市民が自ら情報を発信してくれるような観光資源を発掘することは、良いことだと思う。

続きまして、シート2の11ページ目、第3章第2節「安全な暮らしを守る地域づくりの推進」について、事務局から説明をお願いします。

【第3章第2節「安全な暮らしを守る地域づくりの推進」について、事務局から説明した】

[会長]

委員からの意見を掲載している、ただいま説明のあった、シート2の11ページ目、第3章第2節「安全な暮らしを守る地域づくりの推進」の施策の進捗状況等に対する委員からのご意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、何かご意見などありましたらお願いします。

[委員]

知的障がい、身体障がい等、色々な障害がある方達にとって、災害が起きた際、障がいによっては一般の人達と同じ場所での避難には無理がある為、親子で車中で過ごす家庭が多い。普段から気兼ね無しとはいかないまでも、集団行動が苦手な人々、家族を対象にした避難所も検討して欲しいと思って記載した。

[会長]

それでは、こちらの内容については、黒字の委員意見を、「総合計画審議会からの意見」として、

進捗管理シートに記載することとして決定したいと思うが、よろしいか。

[委員]

【異義なし】

[会長]

それでは、委員の皆様からいただいたご意見の「総合計画審議会からの意見」欄への記載に関する審議は以上となる。

今後、事務局には当審議会からの意見について、各所管課へのフィードバックを行い、各施策を適切に推進していただきたいと思う。

(2) その他

[会長]

次に(2)の「その他」について、事務局から何かあるか。

[事務局]

ない。

[会長]

まだ時間があるので、他に意見があればお願いしたい。

[委員]

他の委員も言っているが、各施策の評価が難しい。この計画は10年なので中間報告などがあれば、評価がしやすくなるのではないか。参考として聞いていただきたい。

[事務局]

第2次総合計画の計画期間は10年であり、今の計画は前期の計画ということになっている。前期計画は令和8年度までなので、来年度は見直しをしていくことになる。委員の皆様には審議をいただき、必要な修正をしていきたい。

[会長]

A B Cという評価があるなかで、前年度と比較し、評価が上がったり、下がったりしているものもある。この結果をどのように評価すれば良いのか難しい。現在の評価だけでなく、過去の評価と比較しながら行う方法もあると思う。是非、検討いただきたい。

[委員]

前回の資料では、各課の取組の進み具合が分からなかった。今回のような形で引き続きお願いしたい。

3 その他

[会長]

次に、次第3の「その他」であるが、何かあるか。

[事務局]

今後の予定についてご案内する。

本日、ご審議いただいた進捗管理シートについては、「総合計画審議会からの意見」にご意見を記載し、市の行財政の基本方針、重要施策等を審議決定する経営会議にて審議するとともに、各課にフィードバックし、令和6年度以降の施策推進の資料とする。

いただいたご意見に対して、各課から何らかの対応方針などが示された場合は、委員の皆様にお示しできればと考えている。

また、本審議会の委嘱期間は2年間で本年の12月20日までとなっている。委嘱期間の期限前

に改めて委員さん宛の推薦依頼を出させていただく。委員の皆様には引き続き、本審議会にご尽力いただければ幸いである。

次回、第14回の審議会は、改めてご相談させていただくが、来年の夏頃から複数回の開催を予定している。会議では、本年同様「第2次総合計画における令和6年度の施策の進捗管理について」ご審議いただくほか、令和9年度からの後期基本計画についてご意見をいただく予定である。

[会長]

他にご意見・質問等がなければ、以上で、本日の議題は全て終了する。

4 閉会

[事務局]

それでは、以上で第13回あきる野市総合計画審議会を終了する。